

クローズアップ マイタウンJOTO ふれあい城東初場所

城東区には両国国技館を上回る規模の「大阪大国技館」があった!

大阪大国技館

昭和12年3月、大日本相撲協会が城東区古市に大相撲大阪初場所を行うため、「大阪大国技館」を建設しました。

収容人数は現在の両国国技館の2倍以上もあり、国内屈指の屋内スポーツ施設として誕生しました。当時は、毎日客席がいっぱいになり、梅田駅やなんば駅行きの特別バスまで出ていたそうです。

ところが、昭和16年太平洋戦争の勃発で、わずか4年間で7回の準本場所を開催しただけで休館を余儀なくされ昭和26年頃に解体されました。

現在は、住宅団地になっていますが、団地内には大阪大国技館の案内板が設置され、区役所には復元模型を設置しています。



大阪大国技館の概要：敷地6,000坪・建坪3,000坪・鉄筋コンクリート4階建ドーム式・収容人員25,000人・昭和12年5月竣工



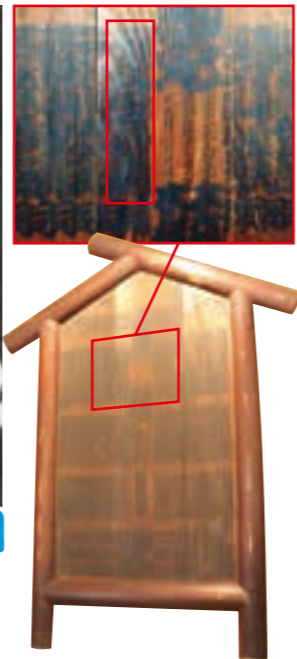
鳴野の生んだ関取 朝日山四郎右衛門

16歳で朝日山部屋に入門した朝日山四郎右衛門は鳴野出身で、気っ風の良い取り口で大正時代に人気を集めた大阪相撲の大関です。

朝日山関が鳴野に帰ってくる時は、村の入り口で必ず人力車から降り、そこから家まで歩いて帰ったと言われています。

そのような素朴な人柄が愛され、村の有力者をはじめ地元の人たちに人気があり後援者から化粧まわしや締め込みが送られました。

白山神社には、当時の板番付があり、そこには朝日山四郎右衛門の名前が見られます。



当時の板番付

相撲の楽しさ、面白さ 女子相撲の世界大会優勝者 山中 未久さんにお聞きしました!

区内の小学校の教職員向け研修会が、11月7日(水)に城東小学校講堂で開催され、女子相撲の世界大会優勝者、山中未久さんによる講演会と実技披露が行われました。

当日は、城東小学校で現在、体育の授業で行われている相撲に関する取り組みなどの説明や、城東区と相撲の関わりについて、VTRなどで紹介されました。

山中さんからは、自分が保育園で初めて相撲を取った時の話や、国内外

での女子相撲の普及活動、世界大会での他国の選手との交流などの話を語っていただきました。また、世界大会で負けた時の悔しさを忘れずに日々の鍛錬を現在も続けているとのことでした。

最後に参加者全員が相撲の基本である四股の踏み方などを丁寧に教えてもらいました。足の上がる位置の高さや、姿勢や一連の動作の美しさ、身体全体の柔軟さには目を見張るものがありました。皆さんも、ぜひ一度、女子相撲をご覧ください!



2013年世界大会軽量級優勝時の表彰式

山中 未久さんプロフィール

静岡県生まれ。4歳の時に保育園で自分より大きい子や男の子を相手に勝利した時、相撲を取ることの楽しさや喜びを知る。小学校4年生の時、地元の相撲クラブで本格的に相撲を習い始め、進学した高校相撲部に女子として初めて入部。高校2年生の時、女子相撲選手権大会で初優勝。2013年ロシア・サンクトペテルブルグ「スポーツ・アコード・コンバット・ゲームズ」世界大会軽量級で優勝。現在立命館大学職員、同大学相撲部コーチ。

土俵のある城東小学校

城東小学校の中庭には立派な土俵があります。城東区は相撲のゆかりの地で昭和63年に地域の方の寄付で造られました。毎年相撲大会が行われ、高学年ではトーナメントで横綱を決めています。

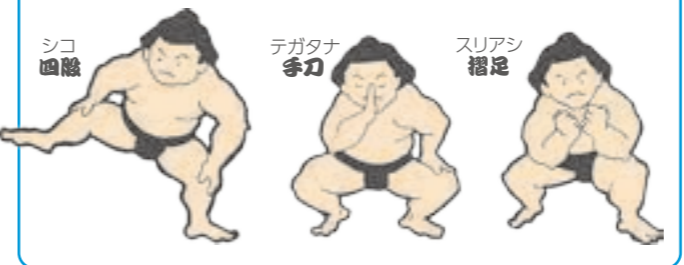


相撲を通じた体づくり

～城東区内での取り組みと期待される効果～

- 城東区内の3つの小学校で、相撲に関する取り組みを進めている
- 相撲は広い場所を要することなく取り組むことができ、日本の文化や礼儀作法を学ぶことができる
- 城東区には国技館があった歴史もあり、相撲を通じて地域への愛着がもてる
- 相撲は幅広い世代に人気があり、世代間交流になる

相撲の所作



あ〜どすこい どすこい

大阪京橋相撲甚句健康教室の見学会

申込要 無料

SARUGAKU祭に出演でおなじみの、大阪相撲甚句会と一緒に唄って楽しみませんか。

とき 2月15日(金) 18:00~20:00

ところ クレオ大阪東会議室 (鳴野西2-1-21)

定員 10名(先着順)

申込み 2月10日(日)までに下記問合せ先まで

問合せ 大阪相撲甚句会 ☎6930-2316

【相撲甚句とは】江戸時代から続く、力士が土俵上でうたう民謡の一種